婦人と新社會

山田わか主筆

四月號

大正十三年三月廿三日印刷納本

智識の增加と悲しみの增加

保守主義と過激主義

恐怖と安全

勇氣と進取

現實と理想

言論の自由と宣傳

障碍的と破壞的

保守主義と過激

主義の倫理的價値

科學主義と進步

輿論の封鎖

每月一回一日發行　第四十九號　大正十三年四月一日發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

智識の增加と悲しみの增加

人間を人間らしくするゐ感化力は要するに犧牲の精神に過ぎない。この犧牲の精神が今日の進歩を成したと云つても其れは眞理に遠いものではないだらう。

例へば十八世紀末に於ける產業革命は多くの犧牲者を出した。多くの熟練工は其の熟練を無用たらしめられた。勿論職業を轉じた者もあるには違ひないが、とにかく多くの職工はみじめな生活に陷れられたのであつた。併し其後の英國に於ける非常な人口の增加は全體として英國國民が繁榮の狀態にあることを雄辯に語つて居る。最も簡單にいへば其の犧牲が進步の價であつたのである。

智識の增加には悲しみの增加が伴ふと同じく幸福を增加しやうとする政策は如何なる政策でも幾分人の生活を破壞するものである。抽象論として社會現象を硏究するものはそれ等の事實を認めてゐる。併しながら不幸にして、實際の仕事に當つてゐる立法家、社會改革家、道德家は、常にこの事實を無視して法律をつくつたり、改革を施したり、忠告したりする。そして彼等の最も誠意ある努力も要するにこの不可抗力の犧牲を救はふとして却つて進步の障害となる。

けれども進步的社會は彼等とは無關係に進んで行く。そして彼等は彼等の夢に欺かれて居るばかりでなく、又不可能な事業に貴重な資金を無駄に投じたりしてゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

保守主義と過激主義

恐怖と安全　私共が選擇を必要とする岐路に立つた時には、いつも二つの根本的に反對な動機によつて支配されますが、其の二つの動機とは即ち勇氣と恐れです。そして、その勇氣は自己表現の衝動及び自由を慾望する心となり、恐れは安全を求める衝動となります。で、その勇氣も恐れも、もし、それが科學的のものであるならば衝突することはありません。なぜなら、自己表現の衝動も、安全を求める心も、私共の生活には必要でありますから。けれども、其等の衝動が非科學的であるので度々衝突が起るばかりでなく、此の異る二つの衝動が一方は過激主義に偏して行き、他の一方は保守主義に墮してしまうのです。

一體、保守主義の特長は恐れを抱くといふことの外に、習慣に囚はれると云ふことがあります。習慣は或る意味に於ては非常に有益なものでありますが、しかし、それが固定した時には行爲が機械的となり、自覺した建設的、創造的生活の障碍となります。ですから、人は保守主義であればあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るほど一層現狀維持を慾望し、無批判的となり、科學的の方法を應用することや、社會改善に對する興味を持たなくなります。

安全と云ふことが生命、幸福、自由に必要條件であるならば、それは權利であるのみならず義務であります。或る程度の財產を所有すること、衣食のために職業を得ること、または、病氣及び老年に對して準備しやうとする慾望は正當でありますが、その慾望が嵩じて、そして自己の安定を計るために他人を不安定な狀態に陷れたり、或は、他人の不安な生活を見て見ぬ振りをしたり、云ひかへれば、自己の安定を計るための特權を設定し、固守する時に、それは有害な保守主義であり不道德なものであると決論しなければならなくなります。

勇氣と進取　さう云ふ保守主義に對抗して過激主義が生れました。實は、過激主義は不安の生產物であり、その不安は不愉快の表現であります。ですから不愉快を感じない人は過激主義者にはなりません。人が變化を希望する主なる理由は現狀のまゝでは不愉快であるからです。といつて、凡ての不愉快が過激主義になるわけではありませんし、且、又、過激主義の動機となる不滿が、必ずしも正當であるとは云へません。けれども、今日の社會組織と標準が、その不滿を癒やし得ると

うになつて居ないならば、それを目して一途に惡であると云つてしまうことも出來ません。
　けれども、過激主義者の慾望が、ただ單に競爭的に獲得的の種類のものであるならば、云ひかへれば、保守主義者が現に所有してゐるものを奪取しようとする處に止まつてゐて、それが國民全般に好機會を與へようとするのでなく、萬人平等の經濟的分配の理想に接近しようとするのでもないならば、私共はその過激主義を是認することは出來ません。
　で、此の點に關する批判は、それぞれの場合によつて別々に判斷しなければなりませんが、とにかく、名聲及び尊敬の標準が財力の度によつて計られる社會に於ては、唯物主義的の競爭が、過激主義的不安を少なからず惹き起すものであると云ふことを認めなければなりません。そして、此の場合には過激主義も、保守主義も、その進み行く方向に於ては同じものであると云ふことも知る必要があります。
　いづれにしろ、過激主義の大部分が勞働階級に對する同情、無産階級の不滿を基礎として居ると云ふことは疑ふ餘地がありません。もし、過激主義者の主張が勞働階級の向上を期し、物質上の幸福を享有する機會を要求するならば、私共はその主張を肯定します。けれども、國民の單なる一部

分のために物質上の高い標準を要求して、他の部分の幸福を一切無視し、無視するのみならず敵視し、そして、それが非民主々義的となり、非經濟的な不平等なる富の分配となるならば、私共はそれを非倫理的なものとして否定しなければならなくなります。

現實と理想　利益の衝突があつて爭ひとなつた場合に、腕力をもつて解決を得やうとすることは、その當事者のどちらかゞ、或はその兩方が、客觀倫理によつて要求されてゐる合理的態度に達してゐない證據です。各人の間に、諸團體の間に、または、諸國の間に寛大な合理的な原則が守られて居るとしたならば、腕力や强迫を用ひる必要は斷じてありませんから。けれども、大部分の人間が其處迄發達してゐないので、腕力や强迫によつて人を支配したり、利用したりしようとする者が出て來るし、ことに過激主義者の或る者はその腕力と强迫によつて問題を解決しやうとします。

で、さう云ふ場合には合理的な人々、團體、または國家はどうすればよいか？　相手の不當な要求又は暴虐に抵抗しないことは、却つて、正義と合理的な倫理の成長を阻むことになりはしないか？其處で、結局の最後の倫理の理想は何であらうとも、實際的客觀的倫理は、今日のありのまゝの社會の範圍内に、そして、此の社會と共に働かねばならないものですから、矢張り、實際に可能であ

り、利益であるものと終極の理想との妥協は止むを得ないものでありませう。ですから、今日の所謂文明國に於てゞすら防禦の政策として、腕力を正當と認めてゐることは非常に意味深いものであります。社會秩序の維持と民主主義の保護のために、腕力を用ひねばならぬと云ふことは實際悲しい現實です。

言論の自由と宣傳　言論の自由と云ふことも殊に過激主義者によつて强烈に要求されて居りますが、それが徒らなる人身攻擊でなく、無用な混亂を社會に惹起するのでなかつたならば干渉する必要は少しもありません。つまり、社會に對する善意と聰明さがあるならば其れは認めなければならない。また、善意と聰明さがあるならば、社會に有害な議論をしようと思つても出來る筈がない、從つて干渉する必要はないのです。けれども、さう云ふ要素があるか無いかを見分けるのが困難であり、且つ、さう云ふ要素は缺乏しがちであるので干渉と云ふことが必要になつて來るのです。

これをもう一歩進めて考へると、主義の宣傳と教育の差を明かにすることの必要が起つて來ます教育は何處迄も客觀的でなければならないものですが、その教育に保守主義又は過激主義が加味された時に、それは偏頗な教育となり、宣傳用に供されることになります。その外、新聞と云ふ名で、

科學と云ふ名で、又は藝術と云ふ名で實行される宣傳を、私共は何處までも否定しなければなりません。

惡性の宣傳、變裝した宣傳は多くの過激主義者によつて利用される方法ですが、それは人間の野性の本能を刺戟し、其れを利用しようとするものでありますから、國民の科學的精神を非常に害するものであり、本當の意味の進歩を阻碍してしまうものであります。

又、他を非難しようとする衝動は、萬人が共通に持つてゐる衝動ですが、それが過激主義者に最も露骨に現れてゐて、エッチ・ジー・ウエルズをして『マルクス主義の全部が他非難の反動である。』と云はしめて居ます。けれども、好む好まないの單なる表現なる褒めることや責めることは、客觀倫理の範圍内に入るべきものではありません。もし倫理が手段と目的の經濟に過ぎないならば、障碍の本當の源でもないものを非難したり攻撃したりすることは不經濟であり、非倫理的であります。排他的な反動、感情的な反動では障碍の泉源を解剖したり、それを除去したりすることは出來ません。

障碍的と破壞的　ですから、過激主義の指導者が哲學的科學的態度に接近すればする程、方法

に關しては保守的になり、腕力や强迫を好まなくなると云はれてゐることは深い意味があると思ひます。けれども、其處まで進んで居ない多くの過激主義者は、設定されてある特別利益を持つ者を攻撃するに急であつて、徒らに衝突を大きくして行き、そして、それだけ、民主主義に必要なる合理的な共同的精神の發達を妨げてゐます。

保守主義の弱點が習慣に囚はれ、新しきを恐れ、民主主義の意義と倫理を沒却してゐると同じく、過激主義はその理想は立派であるにも拘らず實際上非常な危險を伴ふものです。其處で保守主義は障碍的であり、過激主義は破壊的であると云ふ斷定を下すことが出來ます。

保守主義と過激生義の倫理的價値

實際、過激主義は現代の科學思想の合理的な發達、歷史的な進步の結果です。そして、其處から勇氣が生れて來て、保守主義にこびり付いてゐる本能的な恐怖心を合理的に否、科學的に分解し除去しようとしました。處で過激主義者は其の知力に醉うてしまつて、現實の人間にはまだ不合理な要素が多分にあると云ふこと、つまり、人間には常に勇敢に事實を認める道理によつてよりも、矢張り低級な利己主義によつて動かされて居るものであると云ふことを忘れてしまひました。過激主義が偏頗して行き極端に行き過ぎてしまつたのは此の點

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

からであつたのです。

そこで、先づ、例外はあるかも知れないとしても、要するに、保守主義も過激主義も眞の意味の進步と幸福を增進することは出來ない。云ひかへれば衝突や革命によつて幾分の進步が得られるとしても、それは收支償はないものであることは明らかです。

保守主義にしろ、過激主義にしろ、徒らに他を排斥する議論や人身攻擊的議論よりも進むことが出來ない以上は他の言葉をもつて云ふならば、事實と研究法に對する具體的な科學的な態度に出ない以上は、猶云ひ直せば、階級爭闘に囚はれて居て、本當の意味の民主主義の倫理のために努力する態度とならない以上は、彼等に民衆の幸福と進步を託することは出來ません。

保守主義も過激主義もそれが絕對に無價値なものだと云ふのではない。保守主義は其れが進步の土臺となつてゐる間は有價値であるが、併し、進步の障碍となつた曉には存在の意義が無くなるし、過激主義も亦、本當に進步を阻碍してゐる保守主義を破壞する範圍に止まつてゐてこそ價値あるものですが、進步の基礎となつてゐるもの迄も破壞しようとする時に危險視されるのは當然です。

科學主義と進步　いづれにしろ、民主主義の倫理のため、云ひかへれば、一般民衆の進步と幸

福の增進のためには、　保守主義も過激主義も科學主義に及ばないこと迄であります。

社會問題の研究、　社會的衝突の解決に科學を應用すること、　科學的の方法をもつて社會政策を樹てること、そして、一般民衆が喜んで科學の指導を受けるやうになる迄は社會は混亂に混亂を重ねて行くでせう。　ですから、目下の急務は私共が一日も早く科學的態度に達することでありますが、其の科學的態度はたつた一つの根本的信仰箇條を奉ずることによつてのみ得られるものであることを私共は承知して居たい。　そして其の信仰とは「原因結果の關係は不變である」と云ふことであつて此の信仰がないならば科學的知識は獲得出來ません。

猶、委しく云ふならば、凡ての結果には必ず原因があり、凡ての原因には必ず結果があるといふこと、存在してゐるものは價値あるものであり、價値ある以上は知る必要があると云ふこと、そして、眞理の發見は必ず人類を益するものであると云ふ信仰です。

科學は信仰を基礎とすると云ふ眞理は、どんなに力說しても力說しきれないものであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

輿論の封鎖

○

『海圖にない海を航海してゐる船の上に生活して居るのが現代人である。我々現代人は我々の進み行く方向を定めるに當つて過去の人の經驗の光りを借りて見るわけにも行かない。なぜなら、現代の如き複雜な生活を經驗した者は曾て一人も無かつた。則ち、過去に於ては、機械產業と云ふものに從事した人は一人も無かつたのである。

『科學と發明の力によつて我々現代人は有史以來の人間が步んで來た道の外にほうり出されてしまつた。何に據つて進むべきか？　全く見當さへも付かない緯度の上に我々は、今、置かれてゐる。しかも、愼重に考慮し、偵察船を出して安全航路を探つて見ると云ふ餘裕を我々は與へられてゐない。我々は、唯、前方へ〳〵と押し出されて居る。』とロッスは云ふ。

○

宗教や學校が教へて呉れた知識だけでは說明の付かない、いはゞ出來合ひの知識では解釋の出來ない問題を今日の私共は取り扱つて行かねばならぬと云ふことは、少しものを考へる人々の痛感してゐる處である。そして、難しい其等の問題を一層難かしくしてゐるものが新聞であると云ふことも周知の事實であらう。

○

惡政治が社會腐敗の唯一の原因であると云ふことは當つてゐないと思ふ。勿論、金力の制裁、階級の壓迫、財政的社會的の收賄、官僚主義、小刄細工と政界の惡德は數へ來れば無數にある。けれども、其の惡德に輪に輪をかけて社會を混濁の中へ導き入れるものは新聞であらう。

○

「眞理を第一位に置くか？　第二位に置くか？　の問題は人類を生かすか？　殺すか？　の問題である」と云つたホエートレー僧正の言葉は今の新聞雜誌記者には顧みられない。彼等は興味と利益のためには眞理を捨てなければならないと信じてゐる。

○

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最も有害な秩序紊亂の形式は上流階級の態度に憤慨して起つた民衆運動である如く、 そして、最も恐しい不德行爲は政府の不道德である如く、 最も破壞的な形式は事實を報導すると云ふ名目で發表される新聞記者の詭辯と宣傳である。

新聞は思想の通運である。 であるから、 新聞の所有者並びに記者が、 如何なるものを何の目的に報導すべきかの權利を勝手に定めて居る以上は公衆は事實を摑むことが出來ず、 政府も善政治を取ることが出來ない。 そして、 これが今日の新聞界の一般であり、 同時に、これが輿論の封鎖である。国民と政府の意志は疏通せず、 政治は想像や噂や出來心によつて取られることになる。

○

英國の一總理大臣が朝の食卓の上で 新聞を見ながら『有力な新聞の持主が公衆を引きづり廻してゐる以上は到底露國に對する正常な處置を取ることが出來ない。』と云つた。 そして、 これは、 政府の前に横つてゐる最高な危險を寫眞にとつたものだと云はれてゐる。

○

國民の意志を精神としなければならない政府が、 新聞によつて其の意志を知り得ないこと、 いゝ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

加減な事實の上に政治を取つてゐること、新聞を社會制裁の下に置く計畫をしない事、新聞記事を蒐集する記者を本氣になつて養成する機關を持たないこと、又、政治學者が年から年中政論を書き、或ひは、講義をして居ながら、輿論の成立と云ふことに付て研究して居ないこと。それ等は實際未來の人々のもの笑ひの種になるであらうとも云はれてゐる。

蒔いた種を刈る時が來た

男女關係の紊亂がはき違ひ解放を叫ぶ——一部の男子に煽られた——婦人界からいよ〳〵女學生界へと蔓延して來たことや、不良少年少女の跳梁は此の頃世人の心を寒むからしめて居ます。が、こう云ふ現象は決して天然自然に生れ出て來たものではなく、要するに、蒔かれた種が芽を出しそれが成長したのに過ぎないものです。

伸びる力を伸ばさずに小さい鉢の中へ押し込めて、人間の趣味が勝手にひねくり廻して小さい盆栽を造り上げるように、子供を或る型の中へ押し込めて教育しようとすることの非が鳴らされそして、新しがる或ひは利口ぶる多くの親達が放任主義乃至自由主義を誇らかに標榜してゐたのは隨分久しい間でした（十四頁へ）

（十三頁より）多くの子供は自由に育ちました。持つて生れたいろ〱の力と共に伸びてはならない本能の力ものび〱と伸びてしまりました。そして、其の非社會的な性質を眞向に振りかざして、社會と云ふ庭園を我れ一人のものであるような顔をして横行跋扈するのですから、周圍の人々がいろ〱な迷惑をこうむらされるのは餘まりに當然です。

　非社會的な野性な本能の叫びに自由だとか個性だとか美しい名を冠して得々としてゐる。其の上に、性教育の名の下に今迄の人間が口にするさへも恥ぢて居たような性的事實が聲高らかに話されるようになりました。話すことを恥ぢないようになつた其の次に行爲することを恥ぢないようになるのはものゝ當然の順序です。

　獨裁的教育が、又、性的事實を一切秘しかくしにして置いたことがよいことだとは私も決して思つてはゐません。けれども、さうしなければならなかつた性情が人間にあつた。今もある。けれども、それが無條件に解放された。

　今日の此の狀態は當然の歸結であつて、しかも、これは其の歸結の第一步則ち第一收獲であつて、第二、第三の、もつと大きな收獲を私共は豫期しなければなりません。要するに、はき違ひ解放と、惡用された自由主義と、教育の名によつて行はれる性的知識の普及は國を倒すに充分であることを、今、氣付かねばならないのです。

本誌臨時定價表

一册	六册	十二册
金十錢　送料五厘	前金五十五錢（送料共）	前金壹圓（送料共）

本誌代及郵税は前金の事　御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと　郵券代用は五厘切手にて一割増　廣告は御照會次第御相談いたします

大正十三年三月廿三日印刷納本
大正十三年四月一日發行

編輯兼發行人　山田嘉吉　東京市四谷區南伊賀町四一
印刷人　大杉直次郎　東京市牛込區山吹町一八九
發行所　婦人と新社會　東京市四谷區南伊賀町四一　振替東京五三六八八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN